

きずな

みんなで創ろう！あたたかさを感じられる住みよいまちづくり

令和3年12月10日号発行
高野地区まちづくり協議会
発行者：清水 敬
編集 広報部会
佐藤 晴之・柏山 裕喜・若杉 勇・
前田 薫・山本 一行・関 洋一・
橋口 榮彦・木村 光宏・木所 信智・
松見 由紀子・大手 兼一



第 11 号

特殊詐欺に
注意！

高齢者の貯蓄や年金をねらう「詐欺」 「悪徳商法」から高齢者を守ろう

高齢者3つの不安とは・・・高齢者の多くの人は、「お金」「健康」「孤独」の3つの不安を持っているといわれます。悪徳業者は言葉巧みに高齢者の不安を煽りながら、親切に対応して信用させ、年金や貯蓄などの大切な財産を狙っています。その手口は、①還付金詐欺 ②二セ電話 ③架空請求などです。最近、最も多いのが「還付金詐欺」といわれ、この間急激に増えているので注意しなければなりません。では、このような被害に直面した場合、どのように対応したらよいか、南守谷交番所長・警部補の染谷和幸さんに伺いました。



【還付金詐欺】 還付金詐欺とは電話やハガキなどで被害者と接触し、ATMから口座間送金で現金を振り込ませるといふものです。振り込み詐欺の一種です。具体的には市区町村の職員や社会保険庁職員、税務署員といった公的機関の関係者を装い、「医療費の還付金に必要な手続きがあります」などと 言葉巧みにATMを操作させ、そこで送金させるというやり方です。

【二セ電話詐欺】 身内(息子や孫)や大手企業の社員、警察官や裁判官などの公的機関の職員になりすました被疑者が被害者に「二セ電話」をかけて対面することなく現金等をだまし取ろうとする方法です。(オレオレ詐欺も含む)



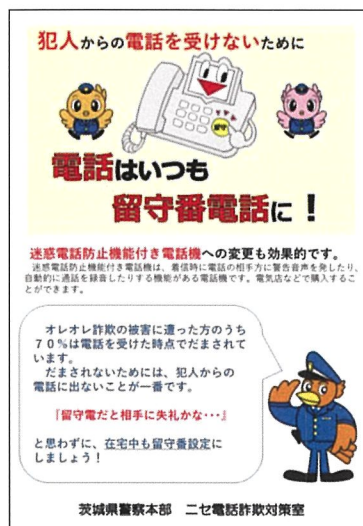
南守谷交番所長
警部補 染谷和幸さん

【対策】 言葉が巧い、詐欺に遭ったかな？と感じたら、すぐ警察に相談しましょう。近くの交番や警察署に駆けつけるという方法もありますが、すぐに行けない場合は、まず「110番」に電話をすること。犯人の口座にお金を振り込んでしまった場合には、早急に金融機関に口座の凍結を求めるよう連絡することが大切です。

＜南守谷交番にて取材 11月7日＞

不安を感じたら
お近くの警察署や交番に
ご相談ください

- ・警察相談専用電話 #9110(24時間対応)
- ・二セ電話詐欺相談電話 029(301)0074
- ・茨城県取手警察署 0297-77-0110



10月10日開催の高野地区まちづくり協議会防災・防犯部会の定例会に茨城県取手警察署南守谷交番 染谷所長をお招きし、講話をいただきました。管内における最近の犯罪事例や防犯対策等の説明を受け、活発な質疑応答が交わされました。今後の犯罪抑止に向けて、地域の皆さまへの啓発活動につなげていきたいと考えています。

敬老行事の記念品選びについて



今年もコロナ禍の状況下での敬老行事となり、残念ながらお楽しみのイベント行事は、中止となりました。代わって二年連続で記念品の配布となりましたが、多くの皆さん方のご協力により遅ればせながら11月初旬に高齢者の方々のお手元へ郵送にてお届けすることができました。

ここに至るまでのプロジェクトチームの苦労と今後の課題について考察し、何時かまた突如として起こる状況下の参考になればと思い、書き記してみました。

■多くの方の希望に応えることの難しさ

今回は、構成員の方々が記念品に相応しいものを持ち寄り検討したが、何パーセントの方が喜ぶか判断が難しかった。（嗜好品の調査が課題か）

■記念品に対する制約

- | | |
|----------------|--------------------------------|
| ①金券とそれに類するもの | 行政の指導 |
| ②食べ物 | 食中毒防止 |
| ③ポストティング出来ないもの | 三蜜を避けるためこれらの物は
記念品から除かれました。 |



■時期について

敬老の日に合わせて実施する予定であったが、感染拡大・緊急事態宣言下の状況では会議は疎か実行作業も出来ない為、配布時期を文化の日に合わせることにした。

難しい判断だが、早期決断、早期準備及び早期実施が望ましい。

■記念品について

以上のことを考慮し、記念品として今回のトートバッグとマスクケースにコロナ感染拡大が落ち着いてきた9月に決まりました。実施に当たっては、非常に短期間で記念品の発注から袋詰め、宛名貼り、郵送に至るまでの一連の作業が進められ、配布に伴う手渡しの接触が回避できた良い計画だったと思います。

これは多くの皆さん方の協力と結束の賜物で感謝に堪えません。誠に有り難うございました。

敬老行事プロジェクトチーム 兼田彰二

地域福祉部会 活動報告 (令和3年11月1日開催)



守谷市シニアクラブ連合会・村田会長の講演会を行った。守谷市シニアクラブ連合会の概要、活動の状況、今後の課題について説明された。

平成27年会長に就任し、時代の流れに沿い、様々な改革を行ない、全国的に会員数が減少する中で守谷市は会員増を達成している。

今後の課題は、新規クラブ創設と「まちづくり協議会」と連携し町内会やサロンと協働して、豊かな地域づくりに貢献することである。

運動会 がんばりました



ヨーイドン！お母さんと一緒にゴール地点まで頑張りました。

11月9日、ミ・ナーデ運動会は体育館で未就園児を対象に新型コロナ対策のため2部制で行われました。

この運動会は参加者同士・地域の協力者との交流を深め、この地域で安心して子育てができるように支援することを目的として開催されてるとの事です。

短い時間でしたが、親子での楽しいひと時を過ごすことができ、子どもたちも大好きなお母さんと一緒に過ごせて、ニコニコ笑顔の子どもたちでした。





土と親しみながらおいしい野菜を作りたい 高野「瓜代農園」

自分で耕し、タネを蒔き、そして育てた野菜は、格別のおいしさがある。
「家庭菜園」とは、その名の通り、家庭で野菜などを作ること。
楽しみは育てる過程それ自体にあるという、お二人の野菜づくりを伺った。



井上 博夫さん

「アクロスモール」から徒歩5分ほどのところ広がる「瓜代農園」。
18万平方メートルにおよぶ広大な農地だ。守谷市に移住した人たちに農園
を楽しんでもらおうと2008年に開園された。ミニトラクター、貸し出し用
農器具が用意されているだけでなく、トイレや休憩所なども設置され、使い
勝手のよい農園といってよい。多くの市民がここで野菜作りを楽しんでいる。

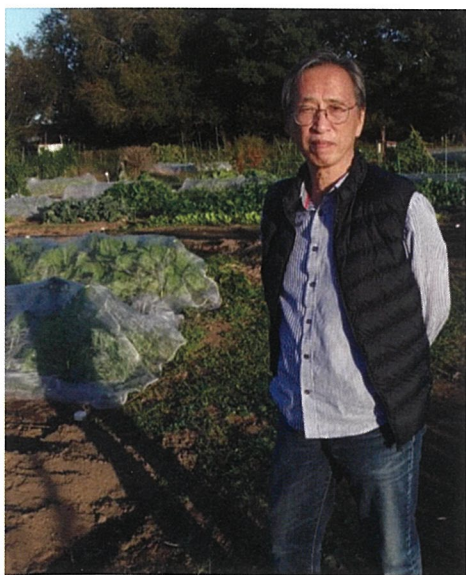
井上博夫さん(78歳)は、10時～正午ごろまでの時間、ここに来て野菜の
成長を検証したり、雑草を取り除いたりする作業時間と決めている。
5キロほど離れた自宅からクルマで来て、畑作業が終わると畑仲間との大切
なコミュニケーション・タイムとなる。世の中の出来事・政治・経済など、
話は多岐にわたる。そればかりではない。現役時代にギャンブラーとして
知らただけにそちらの話も欠かさない。

東京生まれ・東京育ちの井上さんは定年退職後の2003年、守谷市に
移住した。そこで遭遇したのが「瓜代農園」であり、野菜づくりだった。
「特段やることがないので野菜作りでも、という思いが発端」と振り返る。
爾来、今日まで農園との付き合いが途切れていない。

今年は、守谷に移住して18年目、畑を始めてから13年目を数える。井上さんの野菜作りでユニークなところは「ナ
ス」や「キュウリ」など、ポピュラー野菜にはあまり興味を示さないこと。数年前に「何を？」と聞いたところ「丹波
の黒豆」という返事。同じ土地では4年に一度ぐらいしかお目にかなわないものに挑戦している。そればかりではない、
その数年後は、「赤いダイヤ」といわれる「小豆(あずき)」にもチャレンジしていた。

建築設計士の井上さんは、計画に基づいて実行することを大切にしている。野菜作りでも例外ではない。生育するに
つれ株が重くなる野菜は、支柱を立てて固定すること。枝やつるが伸びる野菜は支柱だけでなく、
ネットで誘引することを欠かさない。計画をきちんと立てるといふ人生の教訓を忘れていない。

「自分で育てた無農薬野菜の味は別格ですね、妻も喜んでくれます」と話す。



蘇我 雄二さん



散策しながら通る農園で、自然を満喫・楽しみながら、ストレスを
感じることなく、マイペースで生き生きと作業している人たちを観て
「家庭菜園をやってみたい」と思いました。実際、太陽の光を浴び
ながら土に触れ、体を動かし、汗をかいた後の清々しい風は、とても
心地よく素晴らしい時間でした。体が動く限り、ライフワーク・趣味
として長く続けたいと思います。

栽培はよく食べる野菜(キュウリ、茄子、トマト、ジャガイモ)を
中心に行ない、思いのほか、よく収穫できました。しかし水やりや追肥、
雑草の除去、虫の駆除など決して簡単ではなく、トマトの尻腐れ対応、
枝豆のカメムシ対策が生き届かなかったため、満足な収穫も出来ず、
来年の課題となりましたが、育てる過程に自身の成長とやりがい
を感じました。

小さな苗木から育てた野菜の収穫は、何とも言えない充実感を味わえ
るものであり、無農薬の安全・安心で新鮮かつ味が濃い野菜の収穫は
とても「美味しい」と家族に好評で喜んでもらえたり、野菜メニューが
増えたなど、家庭菜園ならではの楽しみと食べ物の大切さを感じること
ができました。



・・・ 介護施設・七福神 清掃ボランティア ・・・

高野地区の定年退職した高齢者8人が毎月第3水曜日10:00～12:00に特別養護老人ホーム・七福神で介護用車いすの清掃や施設内の庭の草取りなどのボランティアを行っています。

ボランティアに参加することで仲間をつくり、社会の中で何らかの役割を果たし、その結果として社会に貢献する。このような活動が「支え合う地域づくり」の力になっています。



守谷市の介護支援ボランティアポイント制度について

活動の時間に応じて、ポイントがもらえ、ポイントに応じた奨励金や市の善意銀行に寄付することができます。

関心のある方は守谷市(健康長寿課)にお問い合わせください。

施設・事務長の声

手の届かないところをサポートしていただき非常に助かっています。



作業が終わった後の仲間同士のお茶に話が弾みます。

自分に
できることで
地域に
貢献できて
嬉しい。

利根川河川敷の整備が進んでいます。 どうぞ散策にお出かけください！

春には桜、秋には彼岸花・・・
絶好の環境をお楽しみください。駐車場、トイレ、ベンチ等を設置し、ゆっくり散策していただけます。



トイレ
根切 公民館横



キレイだね！

「あわんどり・どんど焼き」 新年1月16日(日)に開催！

浅間神社下の土手で午前11時30分に点火！

毎年1月に無病息災を願って行われます。
正月のしめ飾りや藁や竹を集め、高く積み上げて燃やします。皆さん！ぜひお問い合わせの上お集まりください！



だんどの火に当たったり、焼いたりした餅や団子を食べると、その1年間に健康に過ごせるという由来があります。



高齢者の方への「移動支援について」のアンケート調査を 来春2月頃に実施します。ご協力をお願いします。



高野地区まちづくり協議会では、高齢化の進展に伴い高齢者の移動手段の確保が益々必要になることが想定され、高齢者への移動支援(身体の不自由な方を含む)について検討してまいりました。

実施するにあたり高野地区にお住まいの方から多く

のご意見をお伺いしたく、令和4年2月頃に「高齢者の移動支援について」のアンケート調査を行いますのでご協力をお願いします。なお、アンケート調査は高野地区にお住いの全世帯を対象に行います。